



小合中だより



小合中ホームページ

教育目標「自主 協力 創造」 重点目標「自己管理能力の育成」 425号 2025年10月10日

節目のとき ～前期を振り返って～

僕たち1年生が小合中学校に入学して、半年が経ちました。1年生全体で、頑張ったと実感したことを話します。それは、積極的にものごとに取り組む人が多くなったということです。体育祭練習のときに、手の空いている人は来てください、と言われたとき、自分から動いている1年生がほとんどでした。入学したばかりの頃は、動くのはごく一定の人だけでした。今では、様々な人が積極的に動くようになりました。また、小合デザイナーの立候補の名前を書くホワイトボードに1年生4人の名前が書かれていました。古紙回収デザイナーのときは、1年生の名前が一人も書かれていなかったの、これを見て僕は、嬉しくなりました。これからも、多くの事柄に積極的に動いたり、様々な役割に立候補したりする人が増えると嬉しいです。



後期には、合唱祭があります。その練習を、1年生全員で協力して、当日大成功できるように頑張っています。

1年生代表 ○○ ○○ さん



2年生の学級目標は「同心協力」です。「同心協力」とは、心をひとつに、みんなで協力し合うことです。2年生はこれを軸に前期を過ごしてきました。私たちは今、この目標を達成しつつあります。後期でもこれを達成できるように頑張りたいと思います。2年生は、1年生のお手本となれる行動を努めてきました。まず始めに、ふれあいウォーキングがありました。3年生を支えつつ、1年生とコミュニケーションをとれるように頑張り、みんなで楽しくゴールすることができました。次に、体育祭です。学年種目を頑張り、みんなが楽しくスムーズに活動できるように工夫しました。当日ではそれを実現することができました。後期には合唱祭があります。みんなで意見を出しながら、より成長できるように頑張っていきます。2年生は来年度、小合中を牽引するリーダーとなります。そのためにも、全員が3年生の言動から多く学んでいるところです。

2年生代表 ○○ ○○ さん



前期3年生が頑張れたのは、みんなで協力し合えたこと、そして、みんなで盛り上げられたことです。例えば、体育祭。練習から当日まで、一人で悩まずみんなで助け合ってきました。ただ、頑張るのではなく、楽しむことを忘れず取り組んできました。一人で盛り上げるのではなく、みんなで盛り上げようとするので、暑さに負けず、最後まで声を出し、楽しい雰囲気を作り上げられました。日常生活では、清掃や係活動、委員会活動など、小さな場面でも協力し合ってきました。授業中でも、周囲に質問するなど、みんなが前向きな雰囲気でも過ごせたと感じます。これからも、自分の目標に全力で取り組み、みんなで盛り上げて、学校全体を明るくしていきましょう。

3年生代表 ○○○○ さん





競技を通しての学び

今年の新人戦は、昨年よりも大きく成長できた大会でした。昨年はバスケットを始めたばかりで、攻めてもゴールまで届かず、いつも先輩に頼りきりでした。今年は他校との合同チームとして出場しました。自分が一番上の学年だと思いと、試合やコミュニケーションを取る時に中心となってやろうという気持ちになりました。プレーの面では、合同練習の時に対一の練習を一生懸命に取り組みました。そのおかげで、点を取る自信がつき、試合当日も積極的に攻めることができました。自分で点を取った時は、チームの勝ちに貢献できたと感じて、とても嬉しかったです。攻める気持ちが大事だと実感しました。コミュニケーションの面では、初めて一緒にプレーしたので最初はどう接すればいいか迷うこともありました。でも、試合中にお互い声を掛け合い、少しずつ信頼を築いていけました。勝ちを重ねるごとにチームワークが深まり、楽しくバスケットをすることができました。

私が試合に出て楽しくバスケットをできたのは、合同チームの先生やメンバーはもちろん、以前の合同チームの先生、先輩たちのおかげなので、感謝をしたいと思います。

女子バスケットボール部 部長 ○○ ○○ さん



今回の新人戦は、あいにく、雨天のため中止となりました。僕たち野球部はこの新人戦に向けて、チームの目標である自分に勝つということを意識して、日々練習を積み重ねて、準備を進めてきました。そのため、中止の知らせを受けた時の悔しさは計り知れません。ですが、今回の中止は決して終わりではありません。むしろ、ここからが新たなスタートです。これまでの練習の成果を日々、改善しつつ、野球人として、次の試合に向けて更なる高みを目指していきたいと思います。今回の経験を決して無駄にせず、チーム全員が気持ちを切り替えて、この先も技術・体力の向上を図りつつ、挑戦し続ける姿勢を忘れずに、より良い結果を目指して邁進して参ります。小合中の部活動として出場する大会はこれで、終わってしまいましたが、この悔しさをバネにして、大きく成長したチームで臨めるよう日々の練習に全力で取り組んでいきたいです。

野球部 部長 ○○ ○○ さん

この大会のために日頃の練習をたくさんして、大会当日も頑張れました。僕は、小学3年生からバドミントンをやっています。ずっとやってきて、勝てなくてやめたいと思った時もあったけど、コーチと監督に話を聞いてもらったりして、やめずに頑張ってきました。

今回の新人戦大会では、ダブルスで出場しました。また1回戦で負けたらどうしようと思いました。でも、パートナーと声を掛け合い、監督のアドバイスを聴いて、最後まで闘い抜くことができました。惜しくも決勝戦で負けてしまいましたが、全力を出し切れてすごく楽しく、嬉しかったです。これから様々な大会でたくさん勝てるように、頑張って練習していきます。

バドミントン種目 ○○ ○○ さん





前期を終えて

前期 始業式



大志さんが最初に語った言葉、それが「わくわく」でした。大志さんは小合中第79代生徒会長です。生徒会長としての想いが込められていました。

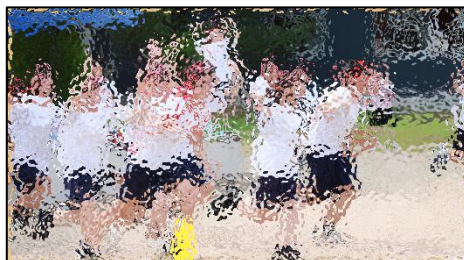
今年度最初の「小合中だより」より

前期 始業式



「わくわく」は、全ての場面における私たちの原動力となります。小合中の生徒76名と教職員20名の合言葉のようになれば、と願っています。

今年度最初の「小合中だより」より



皆さんは、最高の「わくわく」を表現していました。



互いを尊重し、協働し合える空気感
これは、「わくわく」の基盤

前期 始業式



ぜひ覚えていてほしいことがあります。それは、**学び、成長するのは生徒の皆さんだけではない**ということ。…皆さんとのかかわりが、私を成長させます。小合中の職員は皆さんとともに成長します。

最高の教職員集団
最高の生徒のみなさん
…この一員でいられて
私は幸せです。

みなさんが表現したのは



とても上質な「わくわく」でした。

「わくわく」は原動力。
苦労や努力、仲間との協働の先に
さらに
「上質なわくわく」
が待っています。

前期終業式校長講話スライドより抜粋

前期始業式で、「わくわく」について話しました。それは、小合中 第79代生徒会長の〇〇 〇〇さんが語った言葉。そして、「わくわく」は全ての場面で私たちの原動力となる、ということ。みなさんは、全力でこの「わくわく」を追求してきました。見てください、この写真のみなさんの表情を。みなさんは全身でこの「わくわく」を表現してきました。本当にすてきなこと。

その陰で、先輩が後輩へ丁寧に教え、支える姿も多くありました。後輩はきっと、先輩の存在を頼もしく、そして嬉しく感じて、期待に応えようと頑張ったことでしょう。先輩はそんな後輩の頑張りを微笑ましく見届け、同様に嬉しく感じていたことでしょう。互いを尊重し、協働し合える空気感。これは、「わくわく」の基盤となるもの。この空気感を当たり前として全員で創り上げていたからこそ「わくわく」は実現されたのです。

もうひとつ。始業式では、学び成長するのは生徒のみなさんだけではなく、小合中の教職員もまた、みなさんとともに学び、成長していく、ということをお伝えしました。今、心から感じます。先生方も本当によく頑張りました。生徒のみなさんとともに。生徒のみなさんを想って。生徒のためにと尽力して。その取組が、ご自身をさらに成長させました。生徒のみなさんもきっと、先生方の成長を感じているのでは。

私は、こんなにもすてきな教職員集団、そして、最高の生徒のみなさんの一員でいられ、幸せです。

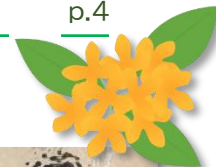
「わくわく」は原動力。でも、苦労や努力、協働の先には、さらなる「上質なわくわく」が在るのです。そしてまた、次なる「わくわく」へと繋がります。…このことを実感できた前期でしたね。

今日は節目。ここに集うみなさん、ひとりひとりがよく頑張りました。自身の頑張りを認め、褒める。そんな、自身の価値付けの一日としてほしいと、強く願っています。

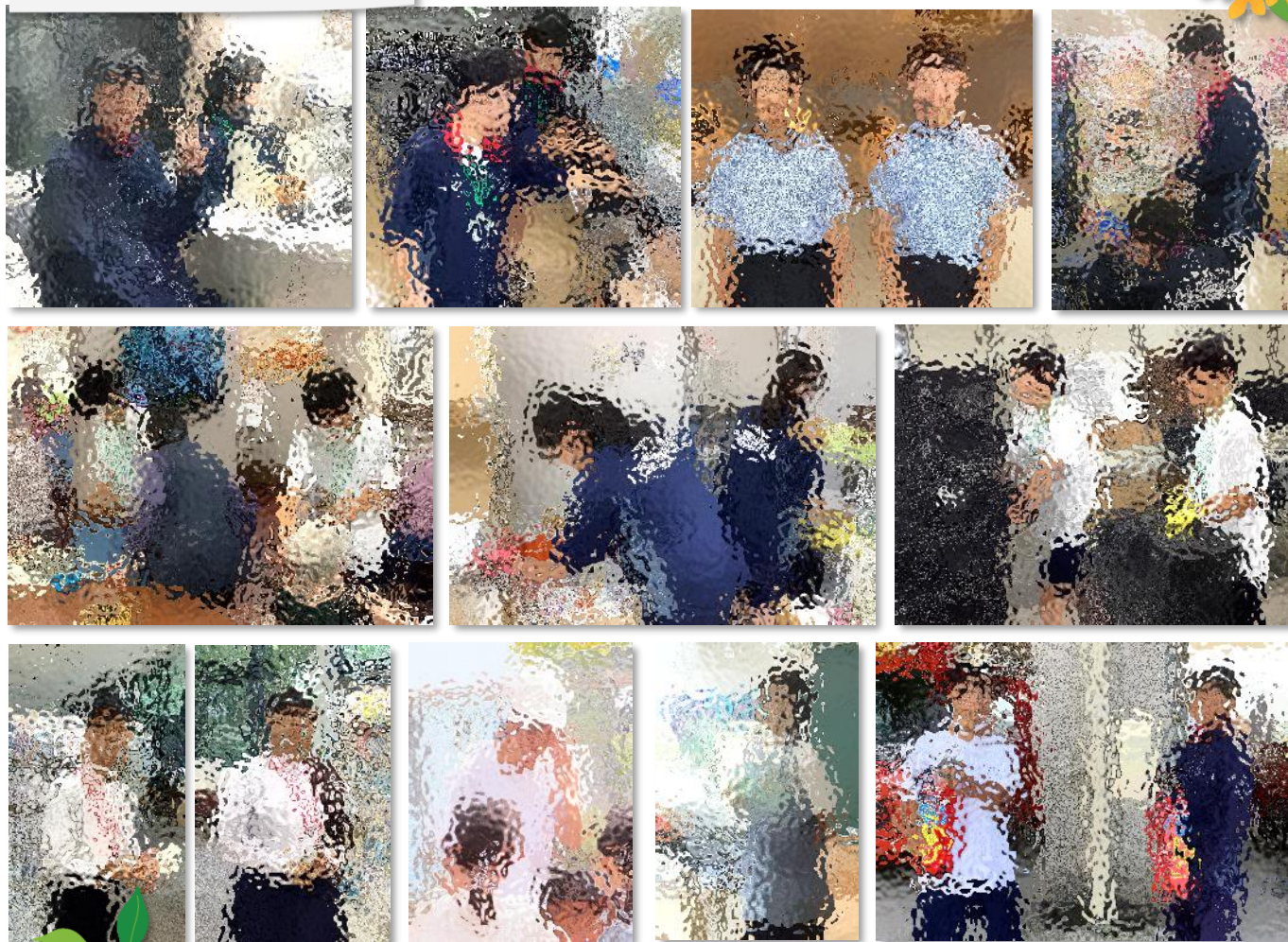
小合中学校 校長 永井 歓

※ HP 掲載版（生徒氏名と写真を修整しています）





2 年生 職場体験



3 年生 地域防災



新人戦



※ HP 掲載版（生徒氏名と写真を修整しています）